

学校全体で多様な学習支援が提供されている

K. M.

埼玉大学 経済学部 経済学科 進学
水戸市立 見川中学校 卒業

私はどの塾にも入塾せず、自力で勉強しました。そのような生徒に対して茨高では課外授業が設定されています。私は学習習熟度に不安があったので、課外授業に積極的に参加しました。先生方は、教科書に書かれている内容を超えた、難関大レベルの問題に対して、考え方のコツや解法を丁寧に解説して下さいます。また、2024 年度から開講された、atama+を使用した課外授業にも参加しました。アプリ内で自分が理解できた単元、うろ覚えになっている単元などが表示されます。また、自分がどの単元が苦手なのか、どの単元を勉強すれば良いのかのおすすめの勉強法を自動で表示し、それを基に問題を解き進めていくため、「これを完璧にすればテストで高得点が取れる！」という目標を立てることができます。私は、そのおすすめの通りに勉強を進めて定期試験に臨んだところ、今までよりはるかに高得点を取ることができました。また、その経験が勉強に対する自信につながりました。

また、朝 7:00～8:30、昼休み 12:30～13:05、放課後～19:00 の、授業のない時間帯には、校内の自習室を利用することができます。水戸市内には、水戸市民会館や公営の図書館が豊富にありますが、座席数が限られていて、座席が埋まってしまう事が多いです。しかし、茨高の自習室は、200 席は用意されていて、たいてい空席があります。また、室内は私語厳禁で、一人ひとりの勉強スペースが仕切られているので、周りの騒音や視界に妨げられることなく、集中して勉強に取り組むことができます。また、自習室の雰囲気が堅苦しすぎると感じたり、友達と相談しながら勉強したいと思った人は、放課後に居残って HR 教室で勉強することもできます。そして、職員室の向かい側にあるので、何かわからない事があれば、すぐに先生に質問できます。私は、ギリギリまで学校に居残って勉強をしていました。時々私は退出時間が迫るなかで質問をしに行ったことがありますが、先生方は忙しい中でも質問に丁寧に答えてくださいました。また、進路を決定しなければならない時期には、自分の興味にあった大学や学問はどんなものがあるのか、自分の学習レベルに合った大学はどこかなど、先生方は気軽に、かつ真剣に相談に乗っていただきました。このように、学校全体で多様な学習支援が提供されているので、自分が希望する大学へ合格することができたのだと思います。

毎年6月上旬に開催される文化祭では、クラス内で普段あまり話さなかった人たちも含め、クラス全体が一致団結して準備に取り組みました。予算内で近くの 100 円ショップから備品を調達したり、ユーモアあふれるクラス企画を立案したり、教室内に即席の壁や装飾を施したりして、クラスの出し物を作り上げていきました。文化祭が終わった後は、文化祭以前と比べてクラスの一体感がより強く感じられました。多忙な高校生活の中で、全員で一つのことを成し遂げる文化祭の準備期間や当日は、とても貴重な時間だったと感じています。

茨高はどのような学力層の生徒とも仲良くなれる点が良いところだと思います。その代わり、英語や数学の授業では、各学期のはじめに、受験時やこれまでの模試の成績などから得られた習熟度のデータに応じて、応用クラス・標準クラスというように授業が分けられます。私は高2次に、英語のクラスが応用クラスから標準クラスに降格になってしまいました。恥ずかしさとともに、再び応用クラスに昇格できるように人一倍勉強しようという熱意が湧き、高3次に、晴れて応用クラスに昇格できるまでになりました。このシステムは、学校内で、自分の学習習熟度がどのくらいあるかの指標にも使えるので、勉強に刺激を与えてくれました。

大学では、新たな出会いを大切にサークル活動に積極的に参加するなど、充実した生活を送りながらも、将来の就職に向けて、勉強を疎かにせず、必要な知識を身につけたり、必要な資格を取得したりしていきたいと考えています。